

刊夕日三十月十

# 常磐毎日新聞

定価 一部全額税一ヶ月五拾銭 郵税五拾銭  
 廣告料 五拾二文字 一行金五拾銭  
 日曜 祭日の翌日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社  
 電話 六三〇

## 親と子の問題

上山幸一

現代は、誰も彼もが忙しい時代である。子供も忙しい。大人も忙しい。生徒も忙しい。先生も親も忙しい。落着いて物を考へる事が少く、唯だん／＼活動してゐる。何に忙しいのか？ 生きる事に忙しいのである。とどまつて物を見つめ考へ直す事が殆んどない。これは仕方ないことで、どうにもならぬ事であるかも知れない。

而しさうかと言つてこれではよいのではない。解決を要求してゐる事が目の前に山程もたまつてゐるに、それを知りつゝそのまゝにしてあるにすぎぬ。

「子供の問題」なども其の中の一つである。子供の問題、特に我が子の問題は子を持つ親の第一の關心事である筈であるのに――

若しも我が子の問題が、その道の専門家のみの研究の對象であるなら――困つた時にのみ児童相談所へ行きたへすればよい。

「親がなくとも子は育つ」故に――。然しながら親の愛なくして子はよく育たぬ事實を何と見る。子供の問

題が單に子供のみの問題にとどまるなら實に――(或る意味に於いて)のだが――事實は親自身の問題であり、社會の問題である。

よい子供である事はその子自體の幸福であると同時にその子の両親の幸福であり、社會國家の幸福である。親は子供のための親であるなら、子供のために考へなくてはならぬ。

親と子が離れる時ここに悲しき事件もおこる。家出、自殺、その他。

現代はともすれば親と子が離れ易い。子は親を殆んど知らず、親は子を知らぬ。これ以上悲しい事があらうか。子供の個性を親は尊重せねばならぬと言ふが、子供を知らずしてその子の個性もあつたものではない。子供本位もよいが放任

ほど危険なことはない。社會が子供を教育する。或は先生が子供を教育して呉れる。

或はそうでもあらう。而し社會は子供をよくも又悪くも教育しつゝある。

先生だつて多數の子供を預つてゐるのだ。決して放任してゐる譯ではないが手ごとどきかねるのが事實であり實情で、結局その子の親が最後のそして第一の責任者である。

### 只今の値段

スコッチ 一オン十銭  
 並毛糸 // 十一銭ヨリ  
 霜降毛糸 // 十四銭マデ  
 今年度新色全部揃ひました  
 ハシモトヤ特製 十八銭ヨリ  
 平編のドレスセーターも澤山揃ひました  
 平・田町 ハシモトヤ糸店  
 電話十四番

### 胃腸病科 専門

内科 皮膚科  
 花柳病科 性病科  
 胃腸病科 皮膚科

院醫性病胃腸村松  
 (番七〇一町南町平)

### 看護婦急派 求めに應じます

平町南町  
 平看護婦會  
 電話三七〇

木村外科醫院  
 平町六丁目橋際  
 電話三〇九番

### 石炭一〇〇パーセント

サーヴキス

時節柄 値下げ!

ダンゼン 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢  
 一等塊同 金參拾五錢  
 品質が優良 デナケレバ 値段バカリ安クトモ結局  
 目方が正確 此の点は當店を絶対に御信用願ひます  
 市内は一俵より配達致します

電話三七番  
 阿部石炭商店

### 本日開店

素晴らしい味覺の殿堂です  
 御散策、シネマのお歸りに是非!

平・三(警察署通り)  
 今成食堂

### 純毛ウオームコート ¥8.00

### 霜降ウラハコート ¥7.50

- ◆ 獨特の編方
- ◆ 染色の堅牢
- ◆ 伸縮の自由
- ◆ 柔かい地風
- ◆ 保温満點
- ◆ スマートな容姿
- ◆ 輕快なる着心地

總てに特長を持つ優美な新製品です

ツルヤ 電一四〇

# 平町國勢調査の結果

## 五年がかりで ヤツト八百人

### 市制實現を目前に 振はぬ人口増加率

平町に於ける過般の國勢調査の結果は世帯四千九百十六戸、人口二萬五千七百五十人その内男一萬二千八百二十二、女一萬二千九百二十八人であるが前回の國勢調査に比較し世帯増加四十七、人口増加数は七百五十二人、男女別は男二百九十九人増、女四百五十三人増で人口三萬以上を目標とする大平市々制實現を控へて餘り香しい成績とは云はれない

害等に依る凶作對策を協議する

### 國語教育 研究發表

石城郡國語教育研究會では來月十日午前九時より内郷高坂本講堂で第五回總會を開催するが全員の國語研究協議、座談會等ある筈

### 農業水利視察 農林技手來郡

縣下に於ける國庫補助を受ける農業水利河川工事調査の爲め農林省佐々木技手が廿七日來平一泊の上廿八日小川江水利組合、廿九日綾川堰農業水利用水路の兩所を縣工事課堤技師の案内で視察し翌日双葉郡富岡方面に向ふと

## 凶作に喘ぐ 農家の良き副業

### 兎皮を軍部が大量購入

郡内農家の養兎は近年遂次増加して現在飼養戸數一萬四千九十七戸、飼養數は五萬五千頭に上つてゐるが販賣見込頭數は四萬頭になつて居り兎皮軍部購入相當多數額の豫定あるため今回本縣經濟部長から郡農會に對し兎皮並に兎肉の出荷見込高調査を十一月十二日迄提出する様示達あつたが昨年は兎皮一枚九十錢前後で四萬枚とすれば金額三萬六千圓に達した筈であり凶作不況にあえぐ農家の將來ある副業としては蓋し有望と云ふべきである

### 町村長の 支會協議

町村長會石城支會は來る廿日午前十時より平町役場會議室に於て開かれ這般の冷

### 農村工場の凱歌 菜種搾油好成绩

#### 今後を期待される搾油場

既報の如く四倉驛前に縣下農村工場のトップを切つて完成された菜種の搾油工場は今月上旬から搾油を開始したが素晴らしい好成绩で廿一日縣へ概況を報告した處に依ると最近毎日菜種卅俵で卅八罐の油と二百五十

貫の油粕を作つて居り現在菜種の相場は一俵八圓五十錢で卅俵は二百五十五圓になるが一罐六圓五十錢として卅八罐二百四十七圓の油賣價と油粕十貫三圓廿五錢で二百五十貫の價格八十一圓廿五錢、計三百廿八圓

### 東京市場を狙つて 蜂屋柿が移出する

#### 昨年より比較高を期待

昨報一郡名産蜂屋柿の共同出荷協議會は廿二日午後一時より平町團體事務所内關係町村農會主任並に農業技術員參集の上催されたが來月上旬から東京方面の出荷多數に上るべくこれは距離の關係で運賃等も比較的安く済むことに依るのであるが價格も昨年は平均二圓位だったが今年是不作の爲め比較的高値を呼ぶ見込である

### 教育總會 平第二校で

石城郡教育會總會集會は來る廿七日午前九時より平第二小學校で開催されるが郡下各小學校教員約八百名參集の筈で盛會を豫想されてる因に講師は東京高師教授山田榮氏で「陶治論」と題する講演ある由

### 第二校児童 が清書入賞

平第二小學校では過般白河第一小學校創立五十周年記念書方展覽會

## 諸橋外科醫院

(電。四六四)

平新川町二七

内臓外科  
皮膚科。花柳病科  
レントゲン科

醫學博士 諸橋鐵彌  
醫學士 奧義弘

耳鼻咽喉科専門

## 鈴木醫院

醫學士 鈴木正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前  
自炊のお需めに應ず  
入院の便あり

## 吸入用酸素純度99%

度量器  
モノサシ  
マス  
ハカリ

器量計

體温計

寒暖計

## 關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

- 一、電気グレイン 運轉手 壹名
- 一、木型職見習 數名

## 平電気鑄鋼所

電話二六番

## 安齊科醫院

平町・田町  
電話四七五番

# 純日本風の 歌曲を多く

## 磐女の音楽會

バザールに一層の賑ひを添ふ

磐城高等女學校の音楽會は恒例のバザールと共に来る廿七日午前九時から同校雨天体操場で開催されるがプログラム左の如く決定し目下田中教諭指揮の下に練習中であるが今年は特に純日本風の歌曲を多く演奏し一般聴衆を恍惚たらしむる計畫で磐陽樂壇の秋また華やかに當日の盛況を豫想されて

- △ピアノ獨奏(華麗なるワルツ)田中教諭(ウオタロー)戰闘曲(二年大和田知恵子(ソナチネ九番)四年草野清子)
- △ピアノ連奏(軍隊行進曲)一年根本ツネ子 箱崎幸子
- △齊唱(飛行機)一年三

# 優秀作品は 表装保存す

## 書道展 益處分

平町聯合書道會では昨廿二日役員會を開き全國書道展の收支決算を行ったが内譯左の如く収入九百三十三圓五十八錢、支出八百三十二圓三十八錢で差引殘金七拾一圓

二十錢を同展覽會出品優秀作品の表装料に充て平第二校内に保存することとなつた  
△収入の部(七二二、〇〇町内有志寄附金(六一

- 二〇)講習會費(八〇、〇〇)
- 町代寄附金(二五、三八)
- 展覽會出品料(一五〇〇)
- 東部聯合會より寄附
- △支出の部(二〇〇、〇〇)
- 講師謝禮(七〇、三〇)
- 助手謝禮(三五、〇〇)
- 講師助手汽車賃(四九、五〇)
- 同宿泊料(七五、四二)
- 同接待費(三〇、四九)
- 通信費(二七、三〇)
- 印刷費(三四、五八)
- 半紙代(五六、四八)
- 賞品賞狀代(四三、九二)
- 書仙紙本代(二一、七六)
- 假巻代(一五、〇〇)
- 會場設備費(八、八七)
- 賞品賞狀送料(九、〇〇)
- 通話料(九二、九七)
- 雜費(五九、九〇)
- 講師旅費其の他(一〇、〇〇)
- 記念寫真代

# 怪少女

## お目見得

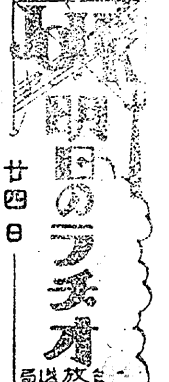
常習で捕る

平町前カフエー福壽軒方に去る十日夜以來屢はれ中衣類敷点と現金十圓の御目見得泥棒を働きたりした伊達郡半田村生れ矢澤まつよ(一)假名は廿一日夜郡山署に逮捕されたがまつよは去月下旬家を飛び出し郡山市大重町吉川食堂の女給となつてゐる内同僚の衣類十數点を盗んで逃走した御目見得常習の怪少女であると

# 網繰漁業

縣外出稼ぎ

網繰業に入つた最近、潮流の關係から既に本格的漁業



天 氣 報  
今晩は北西の風  
明日も北西の風  
のち曇

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「秋になると何故紅葉するか」牧野富太郎
- 後六、二五 基礎英語講座
- 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「我國社會事業發達の概況」清浦奎吾

明日の部

- 後八、〇〇 ラヂオドラマ「秋空晴れて」初瀬浪子
- 武田正憲他
- 後八、五〇 獨唱 藤堂顯一郎
- 後九、〇〇 浪花節警察美談(命を賭けて)宮川松安
- 後九、三〇 時報 ニュー氣象通報 番組豫告

# 愛婦の資金造成で 純益なんと二百圓

すわらじ劇團公演大當り

本日收支決算終る

女工大量募集  
平町職業紹介所に本日福島市職業紹介所から岐阜市大日本紡績株式會社の紡績女工六百名の大量求人申込があつたが資格は十四歳以上廿二歳迄の尋常科卒業以上女子見習で初給四十錢、二ケ年以上長期雇入れと有るが旅費自分持で試験は岐阜市の同工場に於て行ふことになつて居り不合格者は歸途の旅費を支給されるとあるが農繁期に入つた昨今喜ばれて居らず同紹介所でも期待してゐない様である

事業資金造成のため過般すわらじ劇團を聚樂館に公開した愛國婦人會平分会は本日收支決算の結果總收入高七百五十三圓卅錢、總支出高四百五十一圓十五錢で差引純益金參百二圓十五錢の素晴らしい好成绩を挙げたが収入の重なるものは七十錢券、五十錢券、合計千九百九十四枚の前賣金額六百十四圓、支出の重なるものは劇團の費用三百五十七圓五十錢と聚樂館諸拂四十八圓十錢、印刷費十九圓四十五錢、電燈代十二圓七十五錢である

大平市制  
施行委員會  
大平市々制施行委員會は來月二日午後一時から開催されるが過般九州方面の調査を了して歸町した市制調査委員の調査報告並に市制施行各案に就いて審議される

- △三助 五十才迄 給料五圓
- △給仕 十五才 高卒 日
- △女中 卅才迄 四人尋卒 給料六圓
- △農夫 四十才迄 二人給料十圓前後
- △農夫 四十才迄 日給六十錢
- △豆腐賣子 四十才迄 給料歩合
- △家具職工 四十才迄 尋卒 日給一圓
- △官署人夫 五十才迄 日給七十錢

平裁判たより  
△双葉郡上岡村大字本岡字本町廿三和田新三郎氏方自動車運轉手根本倉吉(三)が去る七月廿五日午後三時頃石炭を満載したトラックを運轉平町より富岡町へ向つて疾走中久の濱大字金澤地内で前方を自轉車で通行中の同町遠藤鶴壽(七)を轢き倒し下腿部に全治九ヶ月の重傷を負はせた事件は今

- △外交員 廿六、卅九、卅一才 高卒
- △事務員 廿三才 中卒
- △配達人 廿五才 高卒
- △中等教員 廿八才 女大卒
- △牛乳配達 廿六才 高卒
- △小使 廿三才 高卒
- △給仕 十八才 高卒
- △自動車助手 廿才 尋卒
- △同 十七才 高一女修

公園に長椅子  
新川町明治製菓株式會社特約代理店吉田定太郎さんは去る九月四日附で長椅子參脚代價十五圓を松ヶ岡公園に備付寄附方を役場に申出た

甲馬競走優勝  
加藤丈夫氏の所有馬イッメロラ号は去る廿一日の原町秋季競馬會内國產甲馬競走に一着となり賞金百八十圓と優勝旗を獲得した

レクサンドル大王の遠征「大熊賢二他」  
後六、〇〇 子供の時間  
獨唱 船橋富美子  
後六、二五 御陵めぐり  
「大和の御陵」萩野伸三郎  
後七、三〇 趣味講座「音の世界」生きる「宮城道雄」  
後八、〇〇 歌曲「木賊觀世喜之」  
後八、三〇 歌曲「渡邊はま子 兒玉好雄」  
後八、五〇 浪花節「銅像を洗ふ女」杉野兵曹長の妻「天中軒雲月」





# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史  
(監) 野口松世

第二百五十七回

## 運命の星 (五)

——わしはもう政治はいやだ。

政治よりも獵がよい。獵をしながら、とくと民意を研究したいのだが、諸君がわしの辭職をゆるしてくれるだらうか。

西郷は、ふたゝび眼をつむつた。そしてまたび眼をひらいたとき奥庭のしげみにかすかに人影の動くのを見た。

——はてな  
だが、そのまゝまた、眼をつむつた。奥庭に忍ぶ怪しい人影を凝視しては、氣の毒だと思ふほどに……

やゝあつて、西郷は、おぼきな眼をひらいてみると、椽先のしめつた地面に額をすりつけるやうにして、一人の男が平伏してをつた。

西郷は、天空の星から、地上の生きものゝ上に眼を落した。腕をくみ、あぐらをかいたまゝである。

「先生」  
と、男は、頭を下げてたまゝいつた。いまのさつぎ、奥庭のしげみの中に……

た。  
「いや、先生、あなたの首を頂戴に参りました」  
「首……このふやけた首が必要だといふのか、何かの役、立つかな」  
「征韓論を引込めて、岩倉大久保等の指圖どほり、おとなしく留守居をするあんたを、あんたの首を、街路にさらしたい爲めです」  
「いつも、大志賀に似ず、その言葉使ひが丁重だつたしかも沈痛陽にみせるやうな聲。」  
「は、ア……なるほど、この意氣地なしの、煮え切ら

た。  
「いや、先生、あなたの首を頂戴に参りました」  
「首……このふやけた首が必要だといふのか、何かの役、立つかな」  
「征韓論を引込めて、岩倉大久保等の指圖どほり、おとなしく留守居をするあんたを、あんたの首を、街路にさらしたい爲めです」  
「いつも、大志賀に似ず、その言葉使ひが丁重だつたしかも沈痛陽にみせるやうな聲。」  
「は、ア……なるほど、この意氣地なしの、煮え切ら

た。  
「いや、先生、あなたの首を頂戴に参りました」  
「首……このふやけた首が必要だといふのか、何かの役、立つかな」  
「征韓論を引込めて、岩倉大久保等の指圖どほり、おとなしく留守居をするあんたを、あんたの首を、街路にさらしたい爲めです」  
「いつも、大志賀に似ず、その言葉使ひが丁重だつたしかも沈痛陽にみせるやうな聲。」  
「は、ア……なるほど、この意氣地なしの、煮え切ら

た。  
「いや、先生、あなたの首を頂戴に参りました」  
「首……このふやけた首が必要だといふのか、何かの役、立つかな」  
「征韓論を引込めて、岩倉大久保等の指圖どほり、おとなしく留守居をするあんたを、あんたの首を、街路にさらしたい爲めです」  
「いつも、大志賀に似ず、その言葉使ひが丁重だつたしかも沈痛陽にみせるやうな聲。」  
「は、ア……なるほど、この意氣地なしの、煮え切ら



「誰だ」

西郷は、わだかまりもなく、むしろ親しげに訊ねた  
「大志賀市之丞にござります」  
「うむ、大志賀君か、いま

「誰だ」  
西郷は、わだかまりもなく、むしろ親しげに訊ねた  
「大志賀市之丞にござります」  
「うむ、大志賀君か、いま

の掛聲ばかりで、わしの尻を押してくれるものはない……」  
「あなたの本音です、本音をみんなきゝたがつてゐるのです。それをきいたら人民大衆は、わアツと押しせてくることは必定……」  
「ところが、本音も、空ごともわしには何もないのだ……」  
「あなたは、岩倉、大久保一行の外遊中に、朝鮮征伐をやらうといふ肚なんぞせう」  
大志賀は、膝を乗出した  
「いや、留守中は、神妙に

の掛聲ばかりで、わしの尻を押してくれるものはない……」  
「あなたの本音です、本音をみんなきゝたがつてゐるのです。それをきいたら人民大衆は、わアツと押しせてくることは必定……」  
「ところが、本音も、空ごともわしには何もないのだ……」  
「あなたは、岩倉、大久保一行の外遊中に、朝鮮征伐をやらうといふ肚なんぞせう」  
大志賀は、膝を乗出した  
「いや、留守中は、神妙に

の掛聲ばかりで、わしの尻を押してくれるものはない……」  
「あなたの本音です、本音をみんなきゝたがつてゐるのです。それをきいたら人民大衆は、わアツと押しせてくることは必定……」  
「ところが、本音も、空ごともわしには何もないのだ……」  
「あなたは、岩倉、大久保一行の外遊中に、朝鮮征伐をやらうといふ肚なんぞせう」  
大志賀は、膝を乗出した  
「いや、留守中は、神妙に

の掛聲ばかりで、わしの尻を押してくれるものはない……」  
「あなたの本音です、本音をみんなきゝたがつてゐるのです。それをきいたら人民大衆は、わアツと押しせてくることは必定……」  
「ところが、本音も、空ごともわしには何もないのだ……」  
「あなたは、岩倉、大久保一行の外遊中に、朝鮮征伐をやらうといふ肚なんぞせう」  
大志賀は、膝を乗出した  
「いや、留守中は、神妙に

してをる」  
「本音をきかして下さい」  
「みだりに政治を改革せんことをさへ、岩倉に誓つたほどのた。何で朝鮮征伐が出るものかい」  
「……」  
大志賀は、くちびるを噛みしめた。  
「それはさうと、君は、わしの首がほしくて来たのだらう。遠慮なく持つていこうがよい」  
腕をくんだまゝ、星空を仰いだ。もう地上の生きものに用はないといつた顔。

してをる」  
「本音をきかして下さい」  
「みだりに政治を改革せんことをさへ、岩倉に誓つたほどのた。何で朝鮮征伐が出るものかい」  
「……」  
大志賀は、くちびるを噛みしめた。  
「それはさうと、君は、わしの首がほしくて来たのだらう。遠慮なく持つていこうがよい」  
腕をくんだまゝ、星空を仰いだ。もう地上の生きものに用はないといつた顔。

してをる」  
「本音をきかして下さい」  
「みだりに政治を改革せんことをさへ、岩倉に誓つたほどのた。何で朝鮮征伐が出るものかい」  
「……」  
大志賀は、くちびるを噛みしめた。  
「それはさうと、君は、わしの首がほしくて来たのだらう。遠慮なく持つていこうがよい」  
腕をくんだまゝ、星空を仰いだ。もう地上の生きものに用はないといつた顔。

してをる」  
「本音をきかして下さい」  
「みだりに政治を改革せんことをさへ、岩倉に誓つたほどのた。何で朝鮮征伐が出るものかい」  
「……」  
大志賀は、くちびるを噛みしめた。  
「それはさうと、君は、わしの首がほしくて来たのだらう。遠慮なく持つていこうがよい」  
腕をくんだまゝ、星空を仰いだ。もう地上の生きものに用はないといつた顔。

### 歯科口腔外科 レントゲン科

院長 東京歯科  
醫學士 原 精一

原齒科醫院

平町土橋通り  
電話三一三番

### 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五一三番

内科小兒科  
耳鼻咽喉科

外科花柳病科  
レントゲン科

素晴しい乗心地の!!!  
三十五年式流線型新車が  
参りました  
是非御試乗御利用の程を御願申します  
平 二  
三井タクシー  
電話六八五番

### 貴方の御家庭に

お手不足は御座いませぬか

### 本會を御利用下さい

直に家政婦を派出します

親切 料金は極め低廉で  
町寧 妊産婦の御家庭  
御病人の付添 お留守 居番  
炊事や 雑用 年寄やお子さんの付添

### 派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二三番)

上原家政婦會  
會事産婆 上原通子